

令和2年4月7日

学校長のことば

例年より2週間ほど早く、桜の花も満開となり、吹く風も春の香りを運び、春の気配を感じる頃となりました。

本来であれば、多くの御来賓の方々、新入生の保護者の皆様方のご臨席を賜り、神奈川県立商工高等学校 令和2年度入学式を挙げる所ではあります。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、新入生及び職員のみが参列する式となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための特別措置であることをご理解ください。

また、県立高校は現在臨時休業中です。再開の時期はまだ分かりません。若い世代への感染が拡大しています。教育活動が一日でも早く再開できるように、新入生のみなさんも不要不急の外出や、密閉空間、密集場所、密接場面を避け感染防止を心がけてください。

さて、先ほど入学を許可した207名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。いよいよ商工高等学校の生徒としての生活が本日から始まります。みなさんは、今どのような将来の目標を持っているでしょうか、高校に合格すること、高校へ入学することが目標になっていませんか？高校の入学は、これからの長い人生の一つの通過点に過ぎません。是非、将来の夢や希望、目標を持って充実した高校生活を送ってください。新しい歴史の創造者として、高い理想を持ち、自から考え、行動し、自分に責任を持って行動し、当たり前のことが当たり前でできる一流の高校生を目指して努力してください。

本校は、1920年、大正9年に実業家の安部幸衛翁の寄付金により神奈川県立商工実習学校として創立されました。1948年、昭和23年に神奈川県立商工高等学校に改称され現在に至っています。2020年、令和2年に創立100年を迎え、卒業生は27,846名を数える伝統ある高校です。今年度令和2年10月23日に県立音楽堂を会場として、創立100周年記念式典を開催します。

本日、入学された皆さんは、先輩からの伝統を引き継ぎ、次の時代の歴史を作り、それを後世に継承する大切な役目があります。商工高等学校の伝統を守りつつ、新しい歴史の1ページを築いてください。

本校は、商業の総合ビジネス科と工業の総合技術科を併せ持つ専門学科高校です。1学年は、総合ビジネス科と総合技術科の生徒をミックスして8クラス展開を行っています。全国にも例のない、とても魅力あふれたクラス編成をとっています。2学年では自分の進路や適性にあわせて系を選択し、3学年ではコースを選択するようになっていきます。また、相互にそれぞれの科の専門科目を選択履修できるようになっています。

未来へのとびらには、簡単に開けることができる扉や、鍵がかかっている扉、鍵を開けても、力を入れて開けなければ開かない扉など様々なものがあり

ます。未来を切り開いて、扉を開けるのは君たち自身ですが、扉を開くために、チャンスをつくってくれる人たちが、君たちのすぐそばにいます。それは保護者の方であったり、地域の方であったり、学校の先生や先輩であったり様々です。開いた扉の先には必ず道があります。まっすぐな道や曲がりくねった道、先が見えない道など様々です。何か困ったことや相談したいことがあったら、自分一人で解決しようとしなくて、そばにいる信頼できる人に相談してください。きっと未来の扉を開き、先へ進む道しるべとなるアドバイスがもらえるはずですよ。

本校の職員は、君たちの夢を実現するため、君たちの教育に全力で取り組みます。君たちも、時にはくじけそうになることもあるかもしれませんが、夢の実現を目指して、これからの三年間未来のとびらを開くため、ともに歩んで行きましょう。

また、学校に寄せられる、地域や上級学校、企業からの良い評判は、これからのみなさんの大きな支えとなり、自分の母校に対する誇りとなります。一人ひとりの生徒が商工高等学校の生徒として、また代表であるという自覚を持ち、良い評判は、校長が発行する各種推薦書にまざる、最大の推薦書であることを忘れないでください。

結びに、207名の新入生の皆さんの実りある高校生活と夢の実現を願い、式辞と致します。

令和2年4月7日
神奈川県立商工高等学校
第21代校長 塩原 正美